

第36回田沢湖マラソン

完走体感！情熱疾走！感動創造！いざ田沢湖で！

9月17日、第36回田沢湖マラソンが田沢湖畔周回コースを主会場に開催されました。
 今大会には、相互交流のある台湾高雄マラソンのランナーなど、国内外あわせてフル・20キロ・10キロ・ペア（3キロ）マラソンの4種目に総勢2896人のランナーが参加しました。
 午前9時30分にフルマラソン、10時に20キロ・10キロ・ペアの3種目が号砲とともに一斉にスタート。当日は残暑厳しい中、選手たちは自身の目標タイムのゴールを目指して、沿道に集まった観客から声援を受けながらペースを刻み、2771人が完走しました。
 ゴールでは、厳しい暑さながらも完走の喜びを噛みしめ笑顔でフィニッシュする選手の姿がたくさん見られました。
 フルマラソン男子総合では小川智寛さん（山形県南陽市）が2時間40分15秒で2度目の優勝。女子総合では廣瀬光子さん（東京都八王子市）が3時間4分16秒で初優勝を果たしました。
 田沢湖マラソンは、たくさんの方のボランティアの皆さまのご協力をいただいています。ご協力をいただいた皆さま、沿道で応援くださった皆さまに感謝します。ありがとうございました。



表紙の写真から

世界に誇る伝統の祭り
 角館祭りのやま行事



9月7日から9日、「山・鉾・屋台行事」の一つとして、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「角館祭りのやま行事（角館のお祭り）」が行われました。
 今年の角館のお祭りは、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したものの、感染症予防への配慮や熱中症対策も講じながら、例年通りのかたちで行いました。
 7日は、各丁内から武者人形や歌舞伎人形を飾った18台の曳山が角館總鎮守神明社を目指して出発。8日には、御座所にて佐竹北家当主に各丁内のおやま囃子と艶やかな手踊りを上覧し、夕方からは観光用のやまぶっつけが行われました。
 最終日の9日は、曳山同士が道で出会うと、通行の優先権をめぐる交渉を繰り返して、決裂すると実力で通る本番のやまぶっつけが行われました。
 迫力あるやまぶっつけが始まると、通りに詰めかけた観客からは大きな歓声が上がリ、賑やかな雰囲気になりました。

